令和
7年度

児童発達支援事業所における自己評価結果

COMPASS 鍋島 .

討議日：令和７年10月17日
公表日：令和８年 ３ 月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		わかりやすく、構造化された環境になっております。 玄関内に段差がありますが、生活空間は段差がなくバリアフリーとなっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		定期的に消毒・換気を徹底しており、毎日の清掃や消毒をおこない、清潔な空間になるよう努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		フロアや個室を児童や活動内容に応じて空間を使い分け、最適な環境づくりに努めております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		月 1 回のリフレクション会議をおこない、見直しや今後の目標について討議しております。 送迎や勤務時間が職員によって異なるため全員が会議に参加することは難しいので、議事録を作成し、職員全員に共有できるように努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に保護者様にアンケートをおこない、送迎時やお迎えに来られた際に会話の中でご意見等をいただいた場合は、ご意向を把握し会議で話し合い、改善を図るように努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月 1 回の会議をおこない、意見を発言する場を設けることで問題点の把握、業務改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		本社で作成された研修動画等を用いた研修を実施しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		半年に一度、個々の児童に対し、保護者様とモニタリングをおこなう際に、アセスメントを実施しております。 また、その際に児童と保護者様のニーズの聞き取りをおこない、客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、 こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者を中心に職員で話し合う場を設け、職員間で共通理解のもと児童の最善の利益につながるよう努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童発達支援計画を作成後、職員全員が閲覧できるように掲示し、計画に基づいた支援をおこなっております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントツールを使用し、児童の状況を確認しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援ガイドラインを踏まえたうえで、保護者様と面談をおこない、児童の支援に必要な項目を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		児童発達支援管理責任者が大まかな流れを作成後、会議をおこない、全職員がアイデアを出し合いながら、プログラムを立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節毎にイベントをおこない、活動が固定化されないよう工夫しながら取り組んでおります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		必ず個別での活動を実施しており、集団での遊びを通してコミュニケーションを取る機会を増やし、社会性の面でも成長できるよう工夫しながら支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前には当日の児童の情報共有、1日の流れ、役割分担を確認し、よりよい支援ができるよう努めております。	
	21	！″＃＄％＆’（）＊＋，－．／０１２３４（５６７３８９：！″ 6;<=<234>?@4:AB2CDEF4GHI		7	送迎やシフトの時間差のため毎日ではありませんが、変化や気づいたことがある場合には必ず共有するようにしております。	送迎や職員の勤務時間の関係でその日のうちの開催は難しい場合もありますが、翌日の出勤日までに共有するように努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援終了後には経過記録等を記入し、気づきや新たな課題等は朝礼などで職員間で共有し、朝礼に参加できなかった職員にも周知しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングをおこない、現状把握、計画の見直しを実施しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童の状況を最も理解している職員や、児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関と積極的に情報共有・相談をおこない、連携した支援ができるよう努めております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じ電話での連絡や訪問をおこない、支援内容の情報共有と相互理解を図ることができるように努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		送迎の際や、電話や、訪問の際に情報共有をおこない、相互理解を図ることができるように心がけております。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	現在、地域の児童発達支援センターとの連携を図る機会を設けることはできておりません。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携を図り、助言をいただく機会を設けてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	現在、他の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会は実施できておりません。	今後は保護者様のご意向と相談しながら検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時やお迎え時に児童の状況をお伝えし、児童の発達状況や課題について、共通理解がおこなえるように努めてまいります。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	送迎時や必要に応じて面談、訪問を実施し、ご相談に対するアドバイスをさせていただいておりますが保護者様が参加できる研修会などは実施しておりません。	今後、保護者様のご意向を確認しながら研修会の開催を検討してまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっております。 また、質問やご不明な点がないか確認しながら進めております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7		ご契約時やモニタリングの際に児童や保護者様の意思を尊重し、児童にとって最善の利益を優先的に考慮した観点を踏まえて、支援計画の作成に努めております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		計画書が作成できた際は、支援の内容の説明をおこない、保護者様から同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		モニタリングの際だけでなく事業所に来所された際にも子育てのお悩みに寄り添いながら、相談に対応できるよう努めております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	現状では実施できておりません。	今後は保護者様のご意向と相談しながら開催を検討してまいります
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		職員間での話し合いを実施し、迅速かつ適切な対応ができるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		COMPASSだよりを季刊発行し、毎月お便りを作成して保護者様へ配布しております。 このほか公式WebサイトではブログやYouTubeで療育チャンネルを運営し、各種SNSでも情報発信をおこなっております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童へは個々の特性に合わせた伝達手段を選択し、わかりやすい声掛けのうえ、意思を確認しております。 保護者様へは連絡ツール、電話、面談など、その時点で最適な方法を選択し、専門用語を避け、ご理解いただけるまでご説明しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	現状では実施できておりません。	現状では実施できておりませんが、保護者様のご意向と相談しながら検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		保護者様にも見やすい場所に掲示し、ご覧いただくとともに、職員にも周知徹底しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難訓練では、絵本等を使用し、分かりやすく説明できるよう努めております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者様に十分に確認をおこない、緊急時には全職員が適切に対応できるよう共通理解を図っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時にお話をうかがい、食べ物を提供する際は、その都度事前に保護者様に説明し、同意をいただいております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、計画に沿って必要な研修や訓練をおこなっております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、 安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づいて、災害時の避難場所の掲示、配布をおこなっており、保護者様にもお知らせしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが発生した際には、必ず記録し、記録を全職員で回覧し共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止のために、事業所内でできる研修を実施し、全職員が一貫した対応に努めております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時に説明をおこない、原則として身体拘束はおこないません。 生命または身体の保護のために必要と判断される場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の同意を得たうえで、児童発達支援計画に記載して対応してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。